

令和3年度 第3回宮崎支部評議会の概要報告

開催日時	令和3年12月15日(水) 10:00~11:50
開催場所	宮崎支部会議室
出席者	川野評議員、佐藤評議員、塩月評議員、高橋評議員、谷口評議員、長鶴評議員、藤元評議員(五十音順)
議題	1. 令和3年度宮崎支部上期実施結果報告について 2. 第113回運営委員会の報告について 3. その他(令和3年度宮崎支部調査研究報告について)
議事概要(主な意見等)	<p>議題1. 令和3年度宮崎支部上期実施結果報告について 事務局より、議題1について説明</p> <p>【学識経験者】 マイナンバーの保険証利用について、歯科受診をした際に窓口でカードリーダーが設置され、PRされた。このような取り組みは効果的でよいと感じた。 健康経営取組事例集は参考になり、とても良い取り組みである。 特定健診についても、評議会での意見を踏まえ集団健診会場を工夫して取り組んでいる点が良い。効果が出ることを期待したい。</p> <p>【事業主代表】 病院受診した際、病院ではマイナンバーを利用できたが、薬局では保険証の提示を求められ、2枚必要となる。同時に拡大してほしい。</p> <p>【事務局】 宮崎県内薬局のカードリーダーの申し込み率は85%であるが、実際に運用しているのは14.9%となっているため、カードリーダーの提供が追いついていない状況ではないかと推測される。</p> <p>【被保険者代表】 薬局で、ジェネリックへの切り替えについて声掛けがあった。薬局で声掛けがあると切り替えがスムーズになると感じた。 協会けんぽの健康宣言を行い、SALCOアプリ(宮崎県が提供するウォーキングアプリ)を活用した取り組みを行っている。歩数の多い職員に賞金を出すなどして表彰した。社員のやる気に繋がることを感じた。</p>

【学識経験者】

コロナ禍において、非対面である申請書の郵送化に対する取り組みは頑張っているが、電子申請等の電子化は進められているのか。

【事務局】

現時点では、電子申請の予定はない。

【被保険者代表】

特定健診の下期の取り組みに、自治体国保との同時実施とあるが、以前国保を担当していたこともあり、国保だけでも受診率は伸びないため、協会けんぽと一緒にできる取り組みは良い。継続していただきたい。

【学識経験者】

被保険者と比べて、被扶養者の特定保健指導実施率は全国と比較して低いが、何か要因はあるのか。

【事務局】

被保険者の特定保健指導は、職場に案内を行うか、当日健診機関で受けることができる。一方、被扶養者は利用券が届いたのち、自身で医療機関に予約し、特定保健指導を受けるため、ひと手間かかることも1つの要因ではないか。以前に健診を受診しない理由についてアンケートを行ったところ、「元気だから」、「忙しい」、「すでに病院を受診しているから」という理由が挙げられた。

【学識経験者】

被扶養者の中には、パートで働いている人も多いのでは。働いているから忙しいのではないか。

【事務局】

パートで勤務している被扶養者の方は実際には職場の健診を受診している可能性があり、改めて特定健診を受ける人は少ないのではないかと推測できる。

パート先で健診を受けている人の結果提供を求めているが、被保険者の健診結果提供を職場に依頼するのと異なり、個別の対応が必要となることや、健診結果のコピーをしてもらい、問診表を記載してもらう必要もあり、結果の取得は難しい状況もある。

議題2. 第113回運営委員会の報告について

事務局より、議題2について説明

【被保険者代表】

インセンティブの減算対象が2分の1から3分の1になった場合に、それぞれ幅があるのか。

【事務局】

3分の1に入らなかった場合は一緒、3分の1に入った場合は、順位によって減算幅がある。
インセンティブの範囲を縮小することで、全国的な取り組みが強化されることを目的としている。

【学識経験者】

厳しい状況にはあるが、取り組みを強化してほしい。

その他、令和3年度宮崎支部調査研究報告について
事務局より、その他について説明

【学識経験者】

今後継続的に分析を進めていくと、宮崎県の特徴が出て、面白いのでは。

特記事項

・次回の評議会は、令和4年1月19日に開催予定